

学び
12

明るい「悩み相談室」

みんながアドバイザー

グループ討議 40～60分

【学習のねらい】

様々な悩みを自分自身の問題として受けとめ、グループの人に悩みを打ち明けたり、アドバイスをしたりすることを通して、心の解放を図ることができる。

【準備するもの】

・明るい「悩み相談室」カード

【進め方】

- (1) ファシリテーターが、グループ毎に教材の入った封筒を配る。
- (2) 参加者が、任意で封筒から一枚のカードを引く。
- (3) 引き当てたカードを各自が黙読し、悩みごとを自分の悩みとする。



<グループ討議>

- (4) グループごとに相談の順番を決めてもらう。(一人が相談者で、残りの人はアドバイザー役)
- (5) ファシリテーターは、「第一番目の相談者、お願いします」と発する。
- (6) 一番目の相談者は、カードを見ながら、自己紹介をし、悩みを他の人に打ち明ける。
- (7) アドバイザー(相談者以外のグループ全員)は、悩みの解決方法についての考え方や行動の仕方を具体的に助言する。
- (8) 相談者は、アドバイザーの助言を聴きながら、カードの左空白欄に、助言の要約をメモする。
- (9) 時間は一問につき8～10分程度(ファシリテーターは、途中で残り時間を示す。)
- (10) 時間がきたら、途中でも討議をうち切る。
- (11) 「二番目の相談者、お願いします」と発言し、以下、最後の人まで進める。

<席替え>

- (12) ファシリテーターは、カード番号(グループの人数による)の座席表を黒板に書き、同じ悩みを抱えた者同士が、同席するように指示する。

<グループ討議>

- (13) 共通の悩みを持ったもの同士が集まって、討議。アドバイスのメモを紹介し合う。
- (14) 「今、すぐにできることは何か?」ということにこだわって、解決方法や考え方を相談する。
- (15) グループの統一見解を出すのではなく、各人が「私なら、この悩みをこういうふう
に解決できると思う」という案を考える。
- (16) 身の回りにある同じような悩みを予備のカードを使って作成し、互いに発表し合っ
てもよい。

<全体討議>

- (17) さらに、グループ討議の相談結果を発表してもらうこともよい。

※参考図書：「勇気が出てくる人権学習」解放出版社

【相談カード】

<p>1</p>	<p>【自己紹介】 橋本 一郎 73歳 無職 【私の悩み】 私の息子は、43歳になるまで女性に縁がなく、結婚相談所を通じて外国人の女性を紹介されましたが、これからのことを考えると色々と心配です。どうしたらよいでしょうか。</p>
<p>2</p>	<p>【自己紹介】 丸山 愛子 35歳 小学校教員 【私の悩み】 小学校5年生の娘はこのごろ口の聞き方が反抗的で、素直に両親や祖父母のことを聞かなくなってきました。この間、祖母に「家にはそんな人間は今までいなかった。」と言われてしまいました。嫁いできた私はショックでした。</p>
<p>3</p>	<p>【自己紹介】 三国一太郎 60歳 農業 【私の悩み】 私の85歳になるアルツハイマーの母親が退院をせまられています。同居させたいのですが、妻との折り合いが悪かったので「昔、意地悪された義母なんかを世話したくない！」と猛烈に反対され悩んでいます。</p>
<p>4</p>	<p>【自己紹介】 小林 節子 28歳 会社員 【私の悩み】 東京で暮らしていますが、誰も私が被差別部落出身だということを知りません。今、お付き合いをしている男性がいて結婚をするつもりですが、彼に出身をうち明けるべきかどうか悩んでいます。</p>
<p>5</p>	<p>【自己紹介】 太田 孝夫 39歳 中学校教員 【私の悩み】 先日、いつもいじめられているM君が顔に青アザをつくっていたので、呼んでいろいろ話しましたが、口を閉ざしています。そして「ぼくががまんすれば、両親も先生も心配しないですむ。あと3カ月で卒業だからほっといてくれ」と言われました。これからどう対処したらよいでしょうか。</p>

6

【自己紹介】 津島 真一 65歳 同和教育推進員
【私の悩み】 昨日妻を亡くしました。私は同和教育推進員をやっており、六曜にとらわれることなく日曜日が都合がよいので「友引」でしたが葬儀をすることにしました。妻とも生前そんな話をしていますので理解してくれると思います。ところが親戚から「非常識もはなはだしい」と反対されています。どうしたらよいでしょうか。

7

【自己紹介】 大山真代 48歳 建設事務所勤務
【私の悩み】 先日、車椅子の方と目に障害のある方に街の中を廻っていただきました。すると、車椅子の方は、「歩道と車道に段差があって困る」と言われましたが、白杖を使う目に障害のある方は、「歩道と車道の境にはっきりとした段差がないと危険だ」と言われました。どうしたらよいでしょうか。

8

【自己紹介】 川村 安弘 65歳 僧侶
【私の悩み】 先日、一人の檀家の方から、「寺修理、改築にあたっての寄付で、金額の多い順番に名前と金額を提示してあるが、あくまでも寄付金なのだから、名前はともかく、金額は取り消すべきではないか、毎回、寺に来るたびに、辛い気持ちになる人の立場になって考えてほしい。まして、自分の子どもや孫までのことを考えると、石碑にすることは断固反対する。」という要望がありました。これからどう対処してよいか悩んでいます。

9